

肥前国嶋原

子ノ正月十八日夕焼出、七・八尺程之大石火二成
 谷々江焼落響夥敷、其廻草木岩面二焼け
 合羽屋五郎兵衛閨二月廿一日嶋原罷越、同廿八日
 彼地出帆仕候所如此二御座候、三月五日
 下関ノ飛脚着仕候所、小倉
 小屋之瀬杯とも朔日夜ノ
 地震、熊本も同然之由

此処正月十八日焼出シ
 其後鎮り当時
 温泉二成ル

妙見山
 此所平日
 温泉あり

普賢山

岩佐藩上之
 地御計置

川内ノ島ノ岩五層ノ上ニ

嶋原御城

前山

釜

肥後御屋敷御飛脚
 松川庄助三月四日高瀬脇
 之石貫ノ見渡シ絵圖
 仕候、此所最中焼居候よし
 其外所々焼居相見へ
 申候よし

此間七里肥後川内

川内ノ嶋原町家
 向かへ杯と見ル

